

# 租税教育の実践発表

## ～租税教室を通して～

東松島市立矢本第一中学校  
3年1組 37名  
発表者：内海佳美

### 矢本第一中学校 3年1組37名

- 最後まで課題に粘り強く取り組む生徒が多い。
- 「探究と協同の学び」のスタイル（4人班）で協力しながら学習を進めている。
- 仲間の考えを尊重しながら、学習を進める姿勢が見られる。



## 学習指導要領との関連

- 学習指導要領「B私たちと経済」、(2)「国民の生活と政府の役割」に位置付けられている。
- 税の意義や納税の義務を理解することを通して、公共財の提供や持続可能な社会の形成について考えることを目的としている。

## 中学3年生公民分野 税に関する指導計画

学習内容	学習目標	評価規準
導入 私達の暮らしと税金 (本時)	税の使い道や負担のあり方に関心を持ち、自分ごととして考える姿勢を持つことができる。	ゲストティーチャーをお招きし、3年生を対象に租税教室を実施
1 私たちの生活と財政	私たちが納める税金の種類や仕組みについて、理解する。	私たちが日常生活の中で納めている税金について理解できる。(知識・理解)
2 財政の役割と課題	政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現する。	政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現できる。(思・判・表)
3 社会保障の仕組みと課題	これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現する。	これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現できる。(思・判・表)
4 少子高齢化と財政	少子高齢化の財政への影響について理解する。	現役世代が納める保険料の負担が大きくなっている理由について理解できる。

## ■ 中学3年生これまでの税に関する学び

• 歴史

時代	税に関する主な学習内容
古代	租庸調、 班田収授法による課税制度
中世	荘園制度と年貢
近世	太閤検地による年貢の整備、 幕藩体制下の税制度
近代	地租改正（1873年） 税の現金納付制度の導入
現代	消費税の導入（1989年）

• 地理

過疎地域の人口減少  
と高齢化

⇒ 地方税収の減少、  
公共サービス維持困難

## 租税教室①

• 税の種類

「10種類？」

「30種類？」

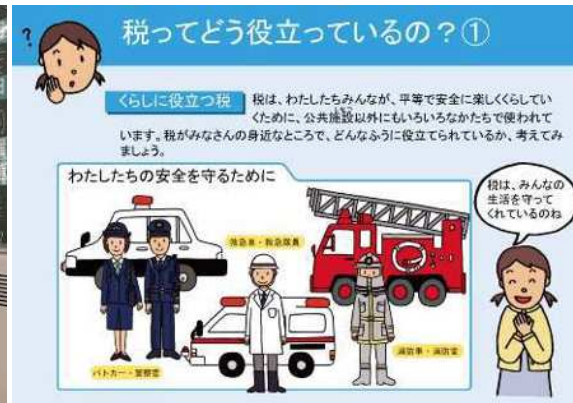
「50種類？」

• 国民の三大義務



# 租税教室②

## 税の使い道



租税教室資料から

# 租税教室③

## • 公平な税負担

「平等に税を負担することが公平なのではないか」

「収入に応じて、負担率を変えるべきではないか」

「様々な人がいて決められない」といった声が上がった。



租税教室資料から

## 生徒の声

- 「自分たちの身の周りには、いろいろな税金があることが分かりました。」
- 「中学生はたくさん税金にお世話になっていると知った。」
- 「税金は高齢者の生活を支える年金にも使われていることが分かった。」
- 「前まではあまり関心が持てなかった話題だけど、世界にある税や宝くじの話など、興味深いものがあった、おもしろかった。」

## 成果と課題

### 成果

- 租税教室を通して、税の知識が深まり、社会とのつながりを実感することができた。

### 課題

- 税に関する内容は多岐にわたり、1時間では情報量が多く、難しいと感じる生徒もいた。

### 今後の授業

- 内容を段階的に整理しながら、身近な例や体験的な活動を取り入れることで、生徒の理解と興味を深めていきたい。